

## スーパーティーチャーによる1人1台端末を活用した授業公開



小城市立三里小学校 スーパーティーチャー 妹尾 知恵子 教諭

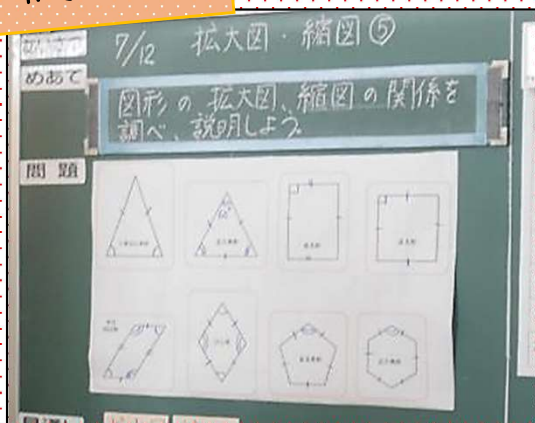
単元名：形が同じで大きさがちがう図形を調べよう (東京書籍 6年)  
小学6年 算数科

教科書のデジタルコンテンツを実際に操作したり、Jamboard上の友達の考え等を参考にしたりして、児童が自力解決を進め、学びの共有を図っていく授業でした!

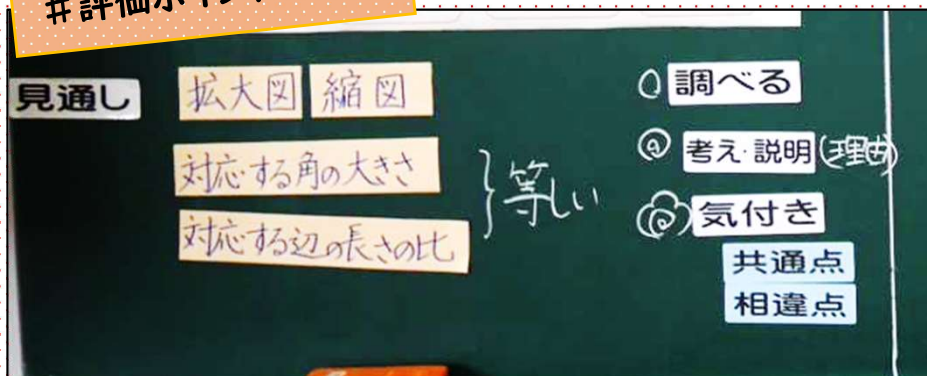
### # ICT活用

- ・デジタル教科書
- ・ホワイトボード機能

### # 学習課題



### # 評価ポイントの共有



「見通し」では、解決の見通しとして「対応する角の大きさに対応する辺の長さの比が等しいかどうかを調べ、表に整理し分類する」だけでなく、「分類について、理由を説明できれば◎、その上で、共通点や相違点の気づきを持てれば⊙」という評価ポイントについても共有が図られていました。

←「SAGA Eコネクト」サイトではたくさんの事例を紹介しています。  
<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>





## 本時の流れ 全9時間 (5/9)

### 導入

- 1 学習課題を捉え、本時のめあてをつかむ。
- 2 解決の見通しをもつ。

どのようなことに着目して、何を使って調べていけばよいのか教師とのやりとりで課題や見通しを明らかにしていきます。

自力解決に向けて、学習課題を整理する子ども達

#つかむ



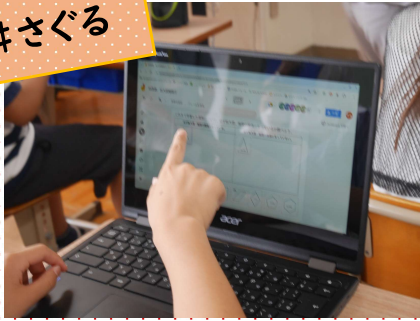
既習事項について全体で確認し、「角の大きさ」や「辺の長さの比」というキーワードについて明らかにした上で、自力解決に向かわせます。

### 展開

- 3 自力解決し、考えを交流する。
- 4 考えを共有し、全体で検討する。

自力解決を進め、考えを交流する子ども達

#さぐる



端末上で分類する児童



ワークシートに整理する児童

#確かめる



端末やワークシートを使って交流する児童

### まとめ

- 6 学習のまとめをし、振り返る。

友達との交流から気づきをもたらされる子ども達

交流の中で確信を持ち、学級全体で共有しようとする。

#気づきを得る



友達との交流で気づきを得た児童は、学級全体に向けて自分の言葉でまとめを発表していきます。